

1. 目的

外国につながる子どもの高校進学支援を目的とする。地域の多文化共生の取り組みとし、誰もが差別されず、のびやかに暮らしていける社会作りの一助とする。(実行委員会規約より)

外国につながる子どもと家族が高校進学についての情報を得て進路選択に希望を持って臨めるようにする。

外国につながる子どもを中心とした参加者が、元子ども当事者の先輩と将来のキャリアや夢について話す。

2. 日時：2023年7月30日(日)午後1時30分～4時30分

3. 会場：大阪市西淀川区役所5階大会議室

4. 参加者数：90名

セミナー参加者36名(生徒と保護者) ※申込26家族

当日キャンセル7家族 支援者42名(通訳者、先輩当事者、実行委員会他) ↑多言語の受付表示

↑開会

引率・見学者12名



5. 参加費：無料

6. 主催：たぶんか高校進学セミナー実行委員会

大阪市教育委員会人権・国際理解教育G第一共生支援拠点「らんまん」、西淀川区役所、大阪市立淀中学校、淀中学校区学校元気アップ地域本部運営協議会、西淀川インターナショナルコミュニティー

7. 内容：多言語の情報提供(高校の種類、諸費用と奨学金)、過去の入学試験問題他、先輩との交流、個別相談

各言語別に高校受験予定の生徒、保護者、引率支援者、通訳者、先輩、グループ担当者(進行・記録)、見学者での座席設定。資料は、「たぶんか高校進学セミナー2023 ダイジェスト版」(日本語・英語・中国語対訳…西淀川版、「進路選択に向けて2022」大阪府教育庁多言語版、大阪府公立高校一般選抜・特別選抜、大阪府私立高校の過去の入試問題、高校パンフレット等を使用。

参加者した生徒と保護者の通訳言語は、フィリピン語、英語、ネパール語、中国語、母語はフィリピン語、ネパール語、中国語、ルーツはフィリピン、ネパール、中国、エジプトであった。

日本生まれかそれに近い生徒の当日参加は、5名/19名…約26%の参加であり、申込は8名/26名…約30%であった。

支援者数42名の内訳は、実行委員会、通訳者、大阪府教育庁高等学校課学事グループ、大阪市教育委員会人権・国際理解教育グループ、淀中学校グローバル教室支援者、西淀川インターナショナルコミュニティー「たぶんかじゅくアニモ」・「きらきら」、NPO法人大阪子ども多文化センター等であった。

また引率・見学12名は、Minami こども教室支援者、大阪市内共生支援拠点で関わっている日本語教師、大阪府立大阪わかば高校、好文学園女子高等学校、いくの多文化ふらっと、京都府立大学からであった。

8. 2023年度のセミナーを終えて

日本生まれの子どもとその保護者への情報提供を念頭に置いて取り組んできたが、申し込み時点で約30%当日参加約26%と一定の手応えが見られた。今後も日本生まれの子どもとその保護者の参加を積極的に促し、従来の進路ガイダンス対象の日本語指導が必要な子どもとその保護者、ダイレクト生、いずれも必要な情報伝達と相談の継続と充実を図りたい。

広報において出来島商店会、「西淀川こどもネット」等地域の子どもの支援グループとの情報共有ができた。

しかし、西淀川区内の小・中学校からの参加者は昨年に比し少なかった。まだまだ必要なところに情報が届いていないもどかしさが感じられた。

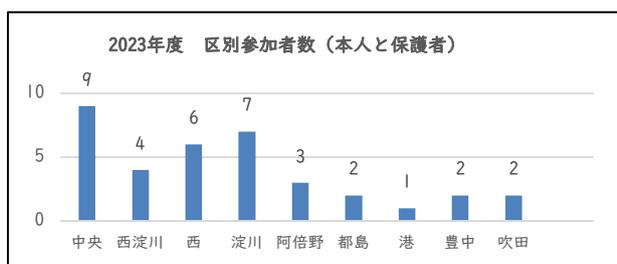
参加状況においては、西淀川区内の申込者が当日参加できなくなったケースや、直前に決まったペルーの独立記念日のフェスタと重なったことも影響したと考えられ西淀川区に多い南米ルーツの参加者が見られなかった。今後の情報共有が必要である。また、情報がなくて困っている人たちが対象であり、昨年度に引き続き西淀川区以外からの参加者が多く見られ、豊中市、吹田市等大阪府内からも参加が見られた。昨年に比べ引率・見学の参加者が多く、全体の約22%であり関心の広がりニーズの高さが見うけられた。

内容的においては、進学情報は言うまでもなく先輩からのメッセージと交流は毎回好評であり、当事者の声は、自身の切実な体験を通じたアドバイスで、例えば「つらいことがあったら（自分だけで考えないで）助けを求めよう」など、これから受験しようとする子どもたちの心に響くものであった。今回の先輩の年齢層は当初予定していた高校生の参加が得られなくなり結果として大学生中心となったため、今回は失敗も含めた高校生の声も聞きたいという意見にも応えたいと思う。先輩との話の運営については事前にインターン生とのオンラインによる打ち合わせをしたので進行はスムーズであった。が、その後の各言語グループでの進行は打ち合わせ不足で手持無沙汰の場面も見られた。

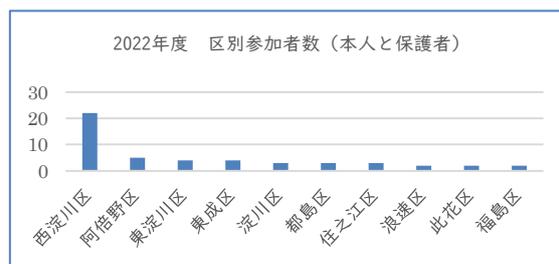
運営面においては、実行委員会主催3年目となる今年度は、インターン生の参加、アンケートにおけるQRコード使用、ダイジェスト版資料の翻訳、府立外教からの応援等があり、よりスムーズに実施できた。

今後、中・長期的な継続と充実のため、事務局を支えるメンバーを増やしていくことが必須だと考えられる。外国につながる多文化な子どもの教育に関心のある教員、インターン生や研究者、ボランティア等のメンバーの増加を図っていきたい。

参考図1 2023年度区別参加者数



参考図2 2022年度区別参加者数



先輩ユースの語り スリランカルーツ



中国ルーツ



中国ルーツ



フィリピンルーツ



参考1. アンケート集計表

26名回収

1. 国籍

日本	16
中国	1
ネパール	2
フィリピン	5

2. あなたは

中学生	13
その他の進学希望者	1
保護者	5
支援者等	12

3. 名前は省略

4. このセミナーをどのようにして知りましたか？

学校の先生	12
チラシ	2
たぶんかじゆく「ア ニモ」	3
その他	14

5. よかったこと

高校の種類や内容	19
学費について	16
入試問題を見た	5
先輩と話した	11
その他	8

6. もっと聞きたいこと

- ・奨学金のことを聞きたい人が多いのかも。もうちょっと丁寧でも良いのでは？
- ・高校に入ってからドロップアウトしたなど、悪い方の経験
- ・現行の高校生のお話
- ・(先輩方に対して)わからない言葉があったとき、どんな調べ方をしてきたか。中学時代にもっと勉強しておいたほうが良かったと思うことは何か。どんな調べ方を
- ・student loan

7. 役に立ったか

とても役に立った	23
役に立った	3

8. その他コメント

- ・細かい説明がきける、良い機会でした。ありがとうございました。
- ・保護者が引率して参加できるので、保護者の目線での経済的なこと、生徒にとって受験にフォーカスしていたことがとても良かったです。
- ・グループ討論の際に全体の騒音が気になり聞き取りにくいことがあった
- ・引率の方が保護者の相手で会話されるので 散漫になり困った場面があった
- ・今回、先生、先輩、子どもたちと様々な視点からのお話が聞けて、貴重な機会になりました。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・突っ込んだ内容になり充実が著しいと感じます。ありがとうございました。

- ・中3生の指導は、支援者も手探りです。もっとこのような機会が増えればいいと思います。
- ・先輩の話がひとりひとりユニークで率直で本当に良かったです。マイクロアグレッションや就職差別、高校生活を続けることの困難などを乗り越えた先の進路展望を参加者は描けたのではないかと思います。付き添った子どもたちの前向きな表情を見て嬉しくなりました。
- ・THE SEMINAR WAS GOOD AND VERY HELPFULL PARENT' S TO UNDERSTAND HOW TO APPLY FOR SENIOR HIGH SCHOOL ALL CLEAR FOR FOREIGN PARENT 'S (このセミナーは、外国人の親にとって、高校受験の方法を理解するのにとても役に立った。)

参考2. 多文化進路ガイダンスの経過

1. 大阪市の多文化進路ガイダンス

外国につながる児童生徒数の増加に伴い、在日コリアンの人々、中国帰国残留孤児関係、保護者の海外派遣による帰国子女、保護者の国際結婚や就労に伴う帰国や来日等による多様な児童生徒数が増加し課題となっている。中でもニューカマーと言われる人たちへの教育についての取り組みが始まった。

1998年、阿倍野中学校「帰国した子どもの教育センター校」(担当坪内)が阿倍野中の通級生と保護者対象に「外国からの子どもの進路相談会」を開催、継続開催要望に応え翌1999年、大阪市立中央図書館で、実行委員会(阿倍野中・市岡中センター校有志、大阪市外教、府立外教、多文化共生センター大阪)主催の「多文化進路ガイダンス」が始まった。その後、大阪府教委・大阪市教委・大阪市外教と協議を経て現在に至り、多言語による日本の教育制度・公立高校選抜試験の内容説明と高校別相談会の2回の実施となっている。

2. 大阪の進路ガイダンス等の歩み

- 1990年 「海外から帰国した生徒の入学選抜」大阪府公立高校
- 1998年 「外国からの子どもの進路相談会」阿倍野中学校「帰国した子どもの教育センター校」実施
- 1999年 「多文化進路ガイダンス」大阪市における実行委員会主催のガイダンス始まる
- 2001年 大阪府公立高校における「中国帰国生徒及び外国人生徒入学選抜」2校の実施
- 2005年 大阪府における多言語進路ガイダンス(府教委が関西国際交流団体協議会に委託)
- 2008年～ 大阪府教委事業として地域別に年1回実施

3. 大阪市淀川区、西区、西淀川区における高校進学情報提供例

年度	タイトル名	場所	主催
2013	高校進学セミナー	淀川区十三	たぶんか進学塾(たぶんかじゅくの前身)
2018	たぶんか高校進学セミナー	西区本町	たぶんかじゅく
2019	たぶんか高校進学セミナー	西区新町	たぶんかじゅく
2020	たぶんか高校進学セミナー2020	西淀川区出来島	西淀川インターナショナルコミュニティー
2021	たぶんか高校進学セミナー2021	西淀川区淀中学校	たぶんか高校進学セミナー実行委員会
2022	たぶんか高校進学セミナー2022	西淀川区役所	たぶんか高校進学セミナー実行委員会
2023	たぶんか高校進学セミナー2022	西淀川区役所	たぶんか高校進学セミナー実行委員会

※ 西淀川区の歩み

2021年6月西淀川区教育行政連絡会に提言、その後外国につながる子どもの教育への可能性について実行委員会により取り組んでいる。